

【部会・分科会活動報告】 2008年1,2月度

| | | |
|---------------------------------|---------------|---|
| 食 品 安 全 研 究 会 | 食品安全調査研究部会 | <p>e-mail 情報の発信： 第1報「JTの中国産冷凍食品で健康被害、同一工場の商品全てを自主回収」（1月30日発信）</p> <p>部会活動等： Codex Contaminants（汚染物質）データベースのアップデート終了</p> |
| | 食品アレルギー研究部会 | 1/16 第1回例会 今期の課題設定 シンポグループ：アレルギー表示免除に関するEFSA Report 調査、翻訳グループ：Article on Hazard Characterization in Food Allergen Risk Assessment: (Food and Chemical Toxicology 2007; 45: 691-701) |
| | 食品微生物研究部会 | 厚生労働省科学研究費申請中 (国立医薬品食品衛生研究所との「かび」に関する協同研究) |
| | 食品リスク研究部会 | 08年第1回運営会議開催(2/18, 13:30-16:30) ILSI Japan 事務局会議室 議題1：健康食品の安全性確保に関する日健栄協検討会および厚労省検討会の状況報告。 議題2：08年活動計画案について <次回運営会議：4/14, 13:30-16:30> |
| | バイオテクノロジー研究部会 | 活動なし |
| | 香料研究部会 | 活動なし |
| | 食品安全研究会全体 | 1/31 部会長会議、1/23 監査(食品安全研究部会活動説明) 1/9 情報委員会、1/10 役員候補選考委員会、2/19 総会 |
| 栄 養 健 康 研 究 会 | 栄養研究部会 | 第5回「栄養とエイジング」国際会議終了後の作業として、プロシーディングス作成を実施中である。 |
| | 肥満タスクフォース | 「日本人の肥満」の日本語版を、今春を目処に出版。監修の先生方に監修を依頼中。 英語版作成に向けて、日本語版の短縮版作成を開始。夏頃を目処に出版。 |
| | 炭水化物研究部会 | GRプロジェクトと、二つの分科会(果糖分科会、ダイエット分科会)を中心に、活動を進める。炭水化物の摂取と健康(肥満、生活習慣病)との関係を、ILSI Japanとして明確にすることを目標としている。 |
| | GRプロジェクト | GRプロジェクト3ヵ年計画の最後の年度終了近くになり、3年間の成果報告書をまとめた。会員の意見を集約し最終版を仕上げる予定。3年間の活動終了後に必要な研究・開発について内容の検討を開始した。 |
| | 果糖分科会 | 2月26日に果糖分科会を実施した。Am. J. Clin. Nutr.の果糖に関する文献4報について、内容を検討した。これまで取り組んできたPub Med検索での171文献、Am. J. Clin. Nutr.の14文献などについて、まとめ方についての方針を確認した。 |
| | ダイエット分科会 | 1および2月は分科会開催せず。GIと摂食量、満腹感の関係を継続調査中。 |
| | 茶類研究部会 | 特に活動は無い。これまでの茶葉分析データベースをまとめてILSI本部管轄のResearch Foundationに申請することを企画している。次回茶部会に提案予定。 |

| | | |
|-------------|--|---|
| | 日本の食生活と肥満研究部会 | 1月17日に全体会を開催。各分科会からの活動状況を紹介。本部会のまとめとして、2008年12月10日(水)にシンポジウムを開催することとした。その準備委員会を設定、そのメンバーを確定した。次回の会合までに、開催案を作成することとした。 |
| | 発酵製品の多様性分科会 | 関連報文の内容検討を継続。発酵食品と肥満の相関に関する直接的な科学論文は少ないため、食文化論の報文も検討する事とした。 |
| | 脂質の種類分科会 | 調査を継続。 |
| | 食事の量分科会 | 前回の報告に引き続きFAOおよびWHOのデータから得られた炭酸飲料、肉の摂取量とBMIの相関に関して、論文調査を行った。論文の質をランク付けして、メタ解析を行うとより興味深いとの示唆を小林先生から頂き、今後、先生のラボでの解析なども検討いただくことになった。インターマップスタディー解析については、摂食のタイミングとBMIの相関を解析する方針でデータセット作成に着手。 |
| | 食品機能性研究会 | |
| C H P | CHP 全体 | |
| | Project PAN (Physical Activity and Nutrition) | <p>テイクテン (TAKE10!)</p> <p>1/7, 8, 9, 10, 17, 18 すみだテイクテンフォローアップ教室 (墨田区)</p> <p>1/16, 21, 22, 28, 29, 30 すみだテイクテン第3期講習会 (墨田区押上、墨田、亀沢)</p> <p>1/9, 10 ふそうテイクテン (講師: 木村美佳、愛知・扶桑町)</p> <p>1/25 テイクテン料理冊子「TAKE10!かんたんごはん」発行</p> <p>2/4, 12, 13, 14, 15, 21 すみだテイクテンフォローアップ教室 (墨田区)</p> <p>2/5, 6, 18 すみだテイクテン第3期講習会 (墨田区押上、墨田、亀沢)</p> <p>リズムテン (LiSM10!)</p> <p>1/12 病態栄養学会発表 (京都)</p> <p>1/30, 31, 2/1 LiSM10! 介入プログラム カウンセリング (N社)</p> |
| | Project SWAN (Safe Water and Nutrition) | <p>1/9, 10 : コラボレーター対象料理教室 (クワンチュン、ベトナム)</p> <p>1/15, 16 : ポスターを用いたトレーニング (ダイモ、ベトナム)</p> <p>1/19, 20 : 評価調査 (タンヒエップ、ベトナム)</p> <p>1/22 : 家庭における食品安全に関するワークショップ (クワンチュン、ベトナム)</p> <p>1/24 : ポエムコンテスト (ダイモ、ベトナム)</p> <p>1/31 : 絵画コンテスト (クワンチュン、ベトナム)</p> <p>2/24 : 母親対象料理教室 (ダイモ、ベトナム)</p> |
| | Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action) | <p>1月 ベースライン調査 (Siem Reap 地方、カンボジア)</p> <p>2月 6ヶ月後食事摂取調査 (Kampot 地方、カンボジア)</p> |
| | 国際協力委員会 | |
| | 情報委員会 | 委員会開催2回(1,2月)。日常業務としてのホームページ更新、What's ILSI 英文版作成作業。ILSI ヨーロッパモノグラフシリーズ「食物繊維」翻訳版発刊。ホームページ項目追加<部会活動の書き |

| | |
|------|---|
| | 込みファイル：会員あるいは当該部会員限定 > |
| 編集部会 | 「イルシー」誌 92 号発刊。「イルシー」誌 93 号編集作業、「イルシー」誌 94 号 第 5 回「栄養とエイジング」国際会議プロシーディングス号編集作業。 |

【講演会・シンポジウムご案内】

| 講演会名 | 案内 | 担当研究部会 |
|------|----|--------|
| | | |

【事務局からのお知らせ】

| | |
|-------|--|
| 運営委員会 | 特になし |
| 執行委員会 | <p>1 月 30 日(金)18:00 - 20:00 に平成 20 年度第 1 回執行委員会が開催された。</p> <p>審議事項</p> <p>議案 1 . 次期役員候補議案承認の件</p> <p>次期役員選考委員会委員長より、パブリックの代表については ILSI の事業分野別の担当を中心にして、産業界代表については推薦結果および会社推薦の視点から検討された下記の役員が選ばれたことが報告され理事会、総会に諮ることになった。</p> <p>(敬称略)</p> <p>(1) パブリック代表</p> <p>栄養 / 健康：木村修一、坂田 隆 食品安全： 福島昭治 食品機能性：小林修平(厚生労働、栄養関連) 岩元睦夫(農林水産、バイオ関連) 上野川修一</p> <p>CHP： 荒尾 孝</p> <p>(2) 産業界代表：桑田 有 明治乳業(株) (敬称略) 田中隆治 サントリー(株) 戸上貴司 日本コカ・コーラ(株) 西山 徹 味の素(株) 時光一郎 花王(株)</p> <p>監事：町田千恵子 ネスレ日本(株) 小安和夫(理研ビタミン(株))</p> <p>以上の報告のあと、下記のような意見が出た。</p> <p>将来的には任期制のような制度の導入を論議する必要がある。</p> <p>事務局の声を理事会に上げやすくするために「事務局長は自動的に理事に選任される」ことにしたらどうかとの提案があり、平成 20 年度第 1 回理事会で審議することになった。</p> <p>議案 2 . 平成 19 年度事業報告書(案)</p> <p>議案 3 . 平成 20 年度事業計画書(案)</p> <p>第 5 回「栄養とエイジング」国際会議を始めとした、平成 19 年度の事業報告と国内外への情報発信を充実させるプランをはじめとした平成 20 年度事業計画の内容が各年度ごとの資料に基づき説明された。</p> <p>それに対して下記のような質疑応答があった。</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>昨年まであった、お茶の水女子大学公開講座に関して、これまでは、ILSI Japan が連携機関として参加していたが、来年より主催はお茶の水女子大学であるが、事務運営は主婦連合会、科目講師をボランティアによる有志が務めることとなり ILSI Japan のメンバーは個人として参加することが報告された。</p> <p>CHP の活動については本部や他の branch から高い評価があったが、会員の中で部会の活動の情報は共有されているとしても、外には発信されていないのが現状なので、平成 20 年度の計画の中では、情報の発信に力を入れていることが報告された。</p> <p>研究部会の成果を定期的に発信しつつ、国際的な連携を計るために英語での発信能力を高めるためのコミュニケーション推進会議（仮称）設置の件もこの執行委員会で承認された</p> <p>以上のような質疑応答の後、議案 2 と 3 は承認された。</p> <p>議案 4 . 平成 19 年度決算報告書（案）</p> <p>議案 5 . 平成 20 年度収支予算書（案）</p> <p>平成 19 年度の決算書類の内容が説明され、続いて平成 20 年度収支予算書について説明され、この予算には事業計画書で報告された情報発信のための、CSR 担当者や部会活動等を報告するための翻訳担当者等を確保するための予算が計上されていることが報告され議案 4、5 は承認された。</p> <p>議案 6 . 「栄養学レビュー」出版に係わる契約条件</p> <p>建帛社からの在庫分の 400 冊分の買取の費用も含めた約 2.3 百万円の負担の要望に関して、栄養部会を通じて購入の打診をしたり、総会の時にこの本の Impact Factor を説明したり、図書館や研究室へ送る販売促進をするような努力をし、建帛社と契約をするとしても、購入額についての交渉を続けることになった。</p> <p>報告事項</p> <p>1 . コミュニケーション推進会議（仮称）設置の提案</p> <p>ILSI Japan の情報発信能力を強化するという特定の目的の事業基金の拠出を会員に呼びかける内容の提案が説明された。</p> <p>2 . ライフサイエンスシンポジウム</p> <p>2 月 19 日の昭和女子大での総会の後「機能性食品 COE の現状」をテーマとしたライフサイエンスシンポジウムを開催することが報告された。</p> <p>3 . ILSI/HESI Japan Workshop</p> <p>2 月 20 日に HESI Member Stewardship and Development Meeting のあることが報告された。</p> <p>4 . 2008 年本部総会</p> <p>Research Foundation で各支部に Grant があり、ILSI Europe, ILSI Argentina, ILSI NA が選ばれたが、ILSI Japan CHP の活動は高く評価されていることもあり、ILSI Japan としても Proposal した方がいいのではないかという意見があり、ILSI Japan の総会で呼びかけることになった。</p> |
| 理事会 | <p>平成 20 年度第 1 回理事会</p> <p>2 月 5 日（火）午後 5:00 ~ 8:00 に平成 20 年度第 1 回理事会が開催された。</p> |

審議事項

議案 1 . 次期役員候補議案承認の件

次期役員選考委員会委員長より、パブリックの代表については ILSI の事業分野別の担当を中心にして、産業界代表については推薦結果および会社推薦の視点から検討された下記の役員が選ばれたことが報告された。

(敬称略)

(1) パブリック代表

栄養 / 健康 : 木村修一、坂田 隆

食品安全 : 福島昭治

食品機能性 : 小林修平 (厚生労働、栄養関連)

岩元睦夫 (農林水産、バイオ関連)

上野川修一

CHP : 荒尾 孝

(2) 産業界代表 : 桑田 有 明治乳業 (株)

(敬称略) 田中隆治 サントリー (株)

戸上貴司 日本コカ・コーラ (株)

西山 徹 味の素 (株)

時光一郎 花王 (株)

監事 : 町田千恵子 ネスレ日本 (株)

小安和夫 理研ビタミン (株)

それに対して、下記の質疑があった。

新任候補の荒尾孝先生、坂田隆先生の経歴について荒尾先生は早稲田大学スポーツ科学学術院教授で坂田先生は石巻専修大学学長であることが報告された。

事務局長は自動的に理事にできるようにして欲しいとの意見があったが、会員の自由な選択を阻害することになるので、もう1名増やす審議の過程で考慮するに留めることにし、役員を増加することに関しては、継続審議にすることにした。

議案 2 . 平成 19 年度事業報告書 (案)、議案 3 . 平成 20 年度事業計画書 (案)

「ILSI Japan 平成 19 (2007) 年度事業報告書案」について説明され、承認された。引続き「ILSI Japan 平成 20 (2008) 年度事業計画書案」に基づき説明があり、特色としては ILSI の事業の成果を国内外への発信の充実を図ることと、東京大学寄付講座の第 2 期がスタートする事が報告された。

議案 4 . 平成 19 年度決算報告書 (案)、議案 5 . 平成 20 年度収支予算書

平成 19 年度の決算報告があり、監事より「内容については適正妥当である。」との監事監査報告があり、承認された。

平成 20 年度収支予算書について国内外への情報発信を充実させるための予算を含めた予算内容が報告された。

それに対して、CHP は寄付金や共同研究事業収入、公的資金に頼る分が大きいので、将来に向けて早い時点で安定した資金運営の道を探る必要があるとの意見があり、予算案は承認された。

議案 6 . 「栄養学レビュー」出版に係わる契約条件

「栄養学レビュー」出版の継続に関する建帛社との打合せの結果、400部の購入の追加等の影響で¥2.3百万ぐらいの ILSI Japan の負担増が求められているが、購入単価の引き下げの交渉と ILSI Japan としても販売努力を検討している事が報告された。

これに対して、この本の Impact Factor が 2.96 であり、いいジャーナルなので会員企業に訴えて販売冊数を増やす努力をするべきであるとの意見があった。

報告事項

1. ライフサイエンスシンポジウム

2月19日の総会に引続き「機能性食品 COE の現状」を主題としたライフサイエンスシンポジウムがあることが報告された。

2. ILSI/HESI Japan Workshop

HESI Member Stewardship and Development Meeting が 2月20日にあるので希望者は参加して欲しいとの呼びかけがあった。

3. 本部総会

プエリトリコで開催された本部総会に関する報告と、Research Fund の申請が 5月末の締め切りになっているので、申し込む (Summary で可) のであれば早い時点で取り組む必要があるとの報告があり、CHP も含めた各部会にも呼びかけることになった。その後、機能性食品および食育に関連する議論が活発に行われた。

平成 20 年度第 2 回理事会

昭和女子大学で 2月19日(火) 10:30~11:45 まで開催された当機構の通常総会で承認された新理事メンバーによる第 2 回理事会がこの通常総会に引続き同大学で 12:15 より開催された。

・審議事項

議案 1. 「理事長・副理事長選任の件」

ILSI Japan の発展のために今までご尽力いただいた、木村理事に引続き理事長に就任して欲しいとの意見が大勢で、全員異議無く承認され、木村理事も承諾し、引続き副理事長の選出に移り、以下になった。

パブリック代表： 上野川理事、小林理事
 産業界代表： 桑田理事、西山理事

議案 2. 「理事長の職務代行指名」

理事長に事故があるときまたは理事長が欠けた時の職務代行者として、第一位として小林副理事長、第二位として桑田副理事長を木村理事長が指名した。

議案 3. 「執行委員の選出」

下記の 8 名が選出された。(敬称略)

理事長 1 名 木村修一
 理事会の互選 2 名 (Public) 小林修平 (産業界) 西山徹
 重要な業務を代表する委員 5 名
 (研究部会) 桑田有、戸上貴司、石井胖行、岩元睦夫、
 (事務局長) 濱野弘昭

総会

平成 20 年度通常総会議事録

平成 20 年 2 月 19 日(火)10:30～11:45 に昭和女子大学学園本部館 3 階大会議室にて本年度通常総会が開催された。

1. 理事長挨拶

木村修一理事長より、今年で ILSI 本部は 30 周年を迎え、ILSI Japan もこれまで着実に事業成果をあげて、活動の広がりを見せているが、日本からの情報発信が弱いので今後は情報発信に力を入れたいとの表明があった。

2. 議長選任

サントリー(株)の樋口直樹氏を議長に選任した。

3. 議事録署名人選出

アヲハタ(株)木村修三氏、日油(株)岩本茂夫氏が選出された。

4. 審議の事項と経過の概要および議決の結果

第 1 号議案 次期役員候補選考案承認の件

下記の役員が推薦され、審議の結果、同議案は承認された。

理 事

-パブリック-

荒尾 孝氏 (新任) 早稲田大学スポーツ科学学術院教授
 岩元 睦夫氏 (社)農林水産先端技術産業振興センター理事長
 上野川 修一氏 日本大学生物資源科学部食品科学工学科教授
 木村 修一氏 昭和女子大学大学院生活機構研究科特任教授
 小林 修平氏 人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科教授
 坂田 隆氏 (新任) 石巻専修大学学長
 福島 昭治氏 中央労働災害防止協会日本バイオアッセイ研究センター

-インダストリー-

桑田 有氏 明治乳業(株)顧問
 田中 隆治氏 サントリー(株)技術監
 戸上 貴司氏 前)日本コカ・コーラ(株)相談役
 時光 一郎氏(新任)花王(株)ヘルスケア第 1 研究所所長
 西山 徹氏(新任) 味の素(株)顧問

監 事

小安 和夫氏(新任) 理研ビタミン(株)顧問
 町田 千恵子氏 ネスレ日本(株)製造サービス部学術課課長

なお、当総会の後で開催された平成 20 年度第 2 回理事会にて、下記の方々が理事長・副理事長に選出された。

理事長：木村修一氏

副理事長：上野川 修一氏、小林 修平氏、桑田 有氏、西山 徹氏

第 2 号議案 平成 19 (2007) 年度事業報告書案承認の件

資料「平成 19 (2007) 年度事業報告書案」に基づき事業報告が行われ、同議案は承認された。

第 3 号議案 平成 20 (2008) 年度事業計画書案承認の件

資料「平成 20 (2008) 年度事業計画書案」に基づき、国内外への情報発信の充実に力を入れるためのコミュニケーション推進会議(仮称)の設置や東京大学 ILSI Japan 寄付講座第 2 期の開設を含めた事業計画が発表され、承認された。

第 4 号議案 平成 19 (2007) 年度決算報告書案承認の件

資料「平成 19 年度 特定非営利活動に係わる事業会計収支計算書、同貸借対照表、同財産目録、および収益事業損益計算書」に基づき、

| | |
|-----|--|
| | <p>決算報告が行われ、石井茂孝監事の監事監査報告の後、同議案は承認された。</p> <p>第5号議案 平成20(2008)年度収支予算書案承認の件 資料「平成20年度収支予算書案」に基づいて、事業計画書をベースにした収支予算書案の内容が説明され、同議案は承認された。</p> <p>報告事項</p> <p>1. 本部総会報告 1月18日から24日まで、プエルトリコで開催されたILSI本部総会の内容が報告され、本部のResearch Foundationの研究補助の募集へ日本からも応募して欲しいとの呼びかけがあった。</p> <p>2. ILSI/HESI Japan Workshop 2月20日のHESI Member Stewardship and Development Meetingの開催が案内された。</p> <p>3. その他 第2期の東京大学の寄付講座への参加の呼びかけとコミュニケーション推進会議(仮称)への協力の要請があった。</p> |
| 事務局 | 特になし |